

第15回記念 奄美を描く美術展



第15回記念奄美を描く美術展大賞

阿室海景Ⅲ F15 水彩・グワッシュ
山口 明日香 (宇検村)

水、風、流れなどを俯瞰して海の流動的な良いフォルムを生み出している。
透明感やきらめきを感じさせる色調で、臨場感のある作品である。

本展 会期：平成28年10月23日（日）～11月15日（火）〈11月2日（水）休館日〉
入場無料 開館：午前9時～午後6時（最終日、午後4時まで）
会場：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館企画展示室

巡回展 会期：平成28年11月28日（月）～12月3日（土）
入場無料 開館：午前11時～午後7時（最終日、午後5時まで）
会場：美術家連盟画廊
（東京都中央区銀座3-10-19美術家会館6階(社)日本美術家連盟）

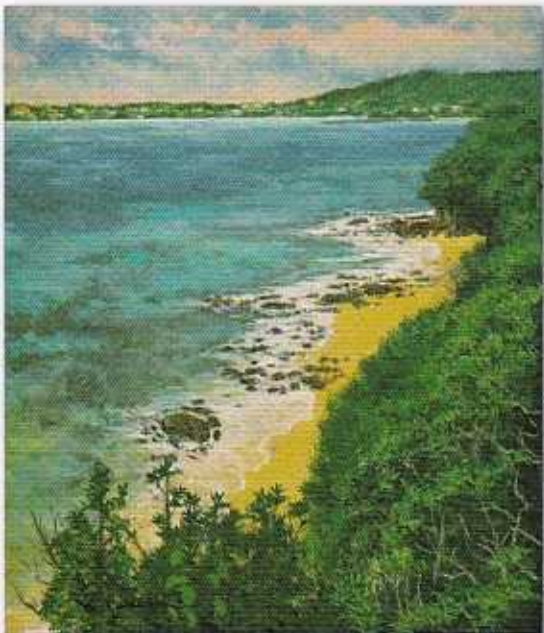
※ 特別出品として歴代審査員の作品も展示いたします。



杜の響 F15 油彩
井上 伸久 (奄美市)

正面から対象に対峙して丁寧に描写している。森の空気感、光の表現など高い力量を感じる。人物と背景が見事に溶け合い、森の奥から鳥の鳴き声なども聞こえてくる。力作である。

優秀賞



奄美の海 (ネイティブシー) F10 油彩
櫻井 啓造 (埼玉県秩父市)

難しい構図を効果的に生かした作品である。手前の砂浜と遠くの稜線が対比的に表現され、その中に配された木々や波が奄美の海岸の空気感を感じさせる。

優秀賞



風の島 F15 油彩
樺山 八壽代 (伊仙町)

手前のサトウキビのざわめき、遠くに見える波など、色や形で強い風を表現している。サトウキビの下部の力強い表現や動きのある葉など、思いがよく伝わる気持ちのよい作品である。

優秀賞



彼方 S10 油彩
平野 良光 (徳之島町)

海底の微生物や機械的な対象を配し、静かな中に動きを感じる。小さい画面であるが密度の濃い、作者独自の空間が広がっている。今後の様々な表現の広がりが楽しみである。

優秀賞



祭りのあと F15 アクリル
吉村 英彦 (奄美市)

板付け船に左からあたる影が時間帯を感じさせ、奄美の空気感を伝えている。船の並びなど構図もよく練られている。祭りのあとの静寂さを感じさせる。

優秀賞



礁 P15 七宝
高塚 ヒサノ (鹿児島市)

大胆な構図と美しい色調が目を引き、凝視していると、次々といろいろなものが見えてくる。声として、音として立ち上がってくる。優れた技量が心を打つ。

佳作・奄美の海賞



アダン S15 水彩

丸山 良二郎 (鹿児島市)

奄美の海、空、アダンの形が美しく配置されている。海にかかるアダンの葉先と海の奥行きバランスが絶妙である。海や空の青と葉の緑が爽やかな空間を演出している。

ヤング賞



奄美まるごと！ F15 油彩

川俣 明日香 (霧島市)

小さな画面に豊かな発想で奄美の面白さを表現している。濃い色のテーブル、三角形の大胆な構図、左に食す姿、右上に手を描く発想が非常に面白い。描写も丁寧である。若い力に期待したい。

佳作・奄美の空賞



ヒズキの音色 ii F15 油彩

瀧田 秀子 (奄美市)

大島紬の織りの様々な工程を想起させる配置が、宇宙への広がりを感じさせる不思議な構図である。線の並び、コマの配置、色などものの解釈が面白い作品である。

シルバー賞



ダチュラ連 F15 水彩

山田 望 (奄美市)

白い花、緑の葉、茶色の幹がバランス良く配置され、奥の花の描き方によって空間の厚みが表現され、揺れているようなダチュラの花により風を感じる。

佳作・奄美の杜賞



マングローブ F15 水彩

原崎 健次 (熊本市)

自由な心でマングローブをとらえて、空や水、樹木を独特の表現で描いている。森の中をカヌーで進むときの瞬間をとらえて心の赴くままに描いた作品から空気感が伝わってくる。

【審査総評】

写実、抽象などのジャンルや油彩、日本画、水彩などの表現方法が多彩でレベルが高く、難しい審査であった。出品者の年齢や経験も多様であり、それぞれが自分の奄美のイメージを表現しようとする工夫、意欲を強く感じた。地道で丁寧に取り組みながら、若い人を中心にユニークな発想もみられ、これからの仕事内容の動向が興味深い。対象に真正面から取り組む中で自然への畏敬の念が表現されるところに特徴がある、本展覧会の今後は益々楽しみである。

審査員長

中野 嘉之 (多摩美術大学名誉教授)

入 選 作 品 (賞候補の作品(※印)は、巡回展でも展示します。)

作 品 名	大きさ	種 類	氏 名	住 所	ガジュマルの森 ※	F15	日本画	上 田 泰 徳	東京都
ハイビスカス	F15	水彩	小 西 幸 子	奄美市	海色	F15	アクリル	中 野 誠	南さつま市
湊田川の朝 ※	F15	アクリル	佐 藤 二 三 男	和泊町	世界自然遺産の島に ※	S15	日本画	重 村 敏 光	奄美市
思い出の名瀬港	F10	油彩	森 正 志	鹿児島市	碧海	F12	アクリル	岡 山 良 治	龍郷町
焼内湾 夕暮れ時 ※	F15	油彩	俊 悦 治	千葉県	蘇鉄	F15	油彩	清 勝 人	奄美市
スクテングウ (諸錦シバヤ)	F15	油彩	元 井 晴 美	兵庫県	思い出	F15	油彩	藤 山 光 通	奄美市
収 穫	F15	油彩	南 弘 子	与論町	*still life goes on.	60×58	ミクストメディア	中 田 久 雄	奄美市
のどかな庭のお客様	F15	油彩	玉 城 邦 子	喜界町	潮の音	F10	アクリル	根 笠 哲 良	奄美市
落陽	F10	油彩	平 富 士 子	喜界町	八月の立神	F15	油彩	森 山 逸 子	奄美市
大空への憧れ	F15	油彩	三 山 泰 代	喜界町	岬(戸内) ※	F15	油彩	恵 ス マ	奄美市
星降る星	F15	油彩	松 平 サヨ子	喜界町	珊瑚礁	F15	油彩	大 江 弘 治	奄美市
ハマイヌビワの木 ※	F15	油彩	渡 洋 子	奄美市	奄美のツブキ (石路)	F15	ソフト/ステル	城 村 秀 和	奄美市
浮島ふたたび	F15	水彩	師 玉 アツミ	奄美市	南調 ※	F15	油彩	積 山 秀 和	奄美市
守り神 ※	F15	油彩	中 野 長 子	奄美市	悠	F15	油彩	田 河 美 紀 子	奄美市
シマの八月夜 ※	P12	アクリル 他 墨汁	進 芳 男	奄美市	ハブの叫び ※	63×47	水彩	源 五 郎 光	龍郷町
喜界のウナリ神 ※	F15	日本画	前 田 正 樹	神奈川県	希望	F15	パステル チョーク	行 村 光 子	瀬戸内町
板根~大地を抱く~ ※	F15	油彩	村 田 雄 偉	滋賀県	浜木綿随想	F15	油彩	平 芳 子	奄美市
ホノホシ海岸	F 12	油彩	永 見 良 子	大阪府	ハマユウ	F10	油彩	海 江 田 宏	指宿市
紡くさき ※	F 15	日本画	木 下 昌 之	鹿児島市	島バナナ	F15	油彩	今 村 富 枝	奄美市
あの空を想い ※	F15	油彩	前 村 卓 巨	鹿児島市	気分走快	F15	油彩	今 村 菜 月	奄美市
夢	F 15	油彩	泉 ももか	日置市	アイ LOVE AMAMI "徒然なるままに"	S15	アクリル	すずき あけみ	龍郷町
針突 Ver.2.0	F8	アクリル	林 智 子	徳之島町	白い花 (イジュの花)	F15	油彩	池 田 三 樹 子	奄美市
光へ	四ツ切	色鉛筆	東 文 代	鹿児島市	ティダの恵	F15	油彩	上 野 圭 子	奄美市
光あふれる	F15	日本画	藤 原 佳 子	愛知県	島の娘 ※	F10	油彩	要 龍 子	奄美市
奄美の海 ※	S10	紙芸	崎 長 史	千葉県	あまみの海	F15	水彩	屋 幸 子	奄美市

歴 代 審 査 員 特 別 出 品 (巡回展会場に展示します) (50音順)

○植田 寛治 (主体美術協会)、○柏 健 (国画会)、○久保井 博彦 (写実画壇)、○横橋 守 (主体美術協会)、○中野 嘉之 (グループ「風」同人)、
○西村 康博 (無所属)、○吹田 文明 (日本版画協会、モダンアート協会)、○文田 哲雄 (二科会)、○山内 滋夫 (写実画壇)

主 催 : 奄美を描く美術展実行委員会

共 催 : 奄美群島広域事務組合 (鹿児島県奄美パーク)

後 援 : あまみエフエム・ディ！ウェイヴ、奄美群島観光物産協会、奄美新聞社、NHK 鹿児島放送局、大島地区文化協会連絡協議会、鹿児島県観光連盟、名瀬美術協会、南海日日新聞社、南日本新聞社

